

### 目指す学校像 「笑顔あふれる学校 ～子供ど真ん中～」

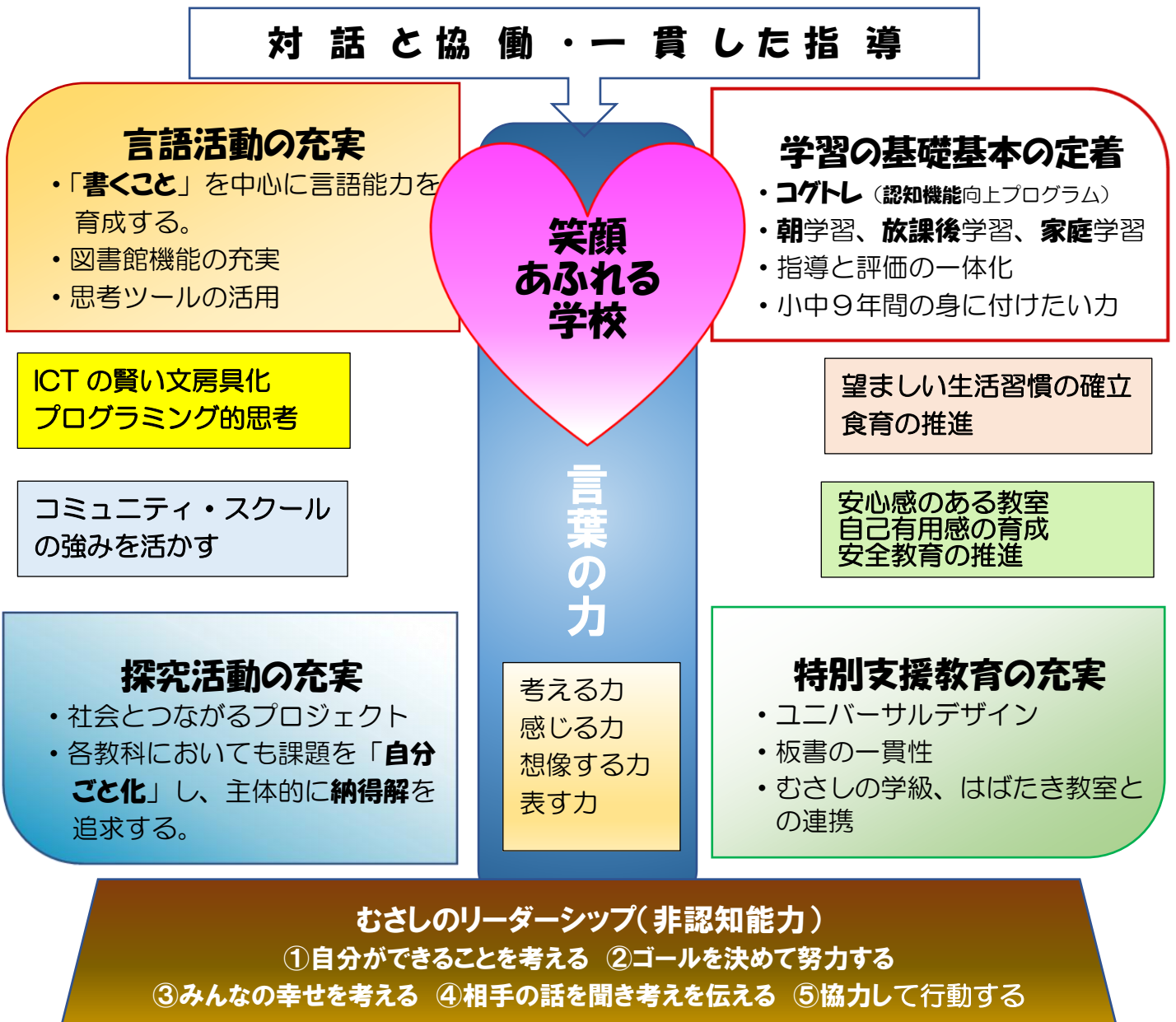
●三者（子供・保護者、地域の方々・教職員）の笑顔を大切にす学校

### 目指す児童像

- 何事も自分ごととして捉え、自ら学びに向かい表現を楽しめる児童…よく考える子
- リーダーシップを身に付け、自分も他の人も尊重し、大切にできる児童…思いやりのある子
- 基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身ともに活力に満ちた児童…健康な子

「対話と協働」をテーマに、人と人とのつながりを大切にし、子供たち同士、教員と子供、学校と家庭・地域、武蔵野小と第三中学校、それぞれが本音で語り合える、風通しの良い関係を構築していきます。また、指導においては、共通認識、共通理解、共通実践を推進し、これまで以上に「チーム武蔵野」で一貫した指導を行っていき、指導ロスをなくしていきます。

学びの基盤である「言葉の力」に注力し、物事を自分ごととして捉え、考え、行動できる児童の育成を目指します。



## 「むさしのリーダーシップ」を基盤とした児童の育成

- 毎日、毎場面を啓発の場とし、**非認知能力**の向上を図り、将来を担う人材を育成する。
- 児童一人一人が主役となり、主体性を育み、自己有用感を高めさせる。

## 「コグトレ」を活用した認知機能の向上

- 金曜日の朝学習は、全校で『コグトレ』に取り組み、「数える」「覚える」「写す」「見つける」「想像する」といった**認知機能**の向上を図り、学習の土台を作っていきます。

<p><b>言語活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>言葉の力を軸とした教育活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 主体的・対話的で深い学び ～自らの問い→課題解決→振り返り</li> <li>• 振り返りで<b>自分の考えを見える化</b></li> <li>• 板書に一貫性をもたせ、<b>ノートを活用</b>して思考を明確にする。</li> <li>• 辞書引き（辞書の活用・漢字は<b>熟語</b>で覚える）</li> </ul> </li> <li>○ <b>図書時間で学ぶ</b>…貸し借り、読書で終わらない。調べ学習の拠点化</li> <li>○ 学級会の<b>話し合い活動</b>の充実</li> </ul>	<p><b>学習の基礎基本の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「コグトレ」を活用した認知機能の向上</li> <li>○ 朝学習の<b>系統的な取組</b></li> <li>○ 金曜日の放課後学習の有効利用</li> <li>○ <b>家庭学習の手引き</b>の作成と<b>確実</b>な実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学年×10分+αの定着（決まった時間に実施）</li> <li>• 自主学習の習慣化</li> </ul> </li> <li>○ 教科担任制の推進（主に高学年） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高学年の外国語</li> <li>• 体育専科の活用</li> </ul> </li> <li>○ 始業時間の厳守</li> </ul>
<p><b>探究活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深く関わり、問題を発見したり、解決したりして、自己の考えを形成したり、創造したりする。</li> <li>○ <b>思考のキーワード、思考ツール</b>の活用</li> <li>○ 探究的な活動を重視した、総合的な学習の時間の見直し</li> </ul>	<p><b>特別支援教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>なかよし学級</b>(むさしの学級交流)のさらなる充実</li> <li>○ 校内委員会の充実</li> <li>○ 特別支援コーディネーターを軸とした校内体制の充実</li> <li>○ スクールカウンセラー（2名）の有効活用</li> <li>○ 関係外部機関との連携</li> </ul>
<p><b>ICTの賢い文房具化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報モラルの系統的指導と徹底</li> <li>○ 1人1台端末の取組事例の共有</li> <li>○ ICTの有効活用と家庭学習の在り方の模索 ※デジタルとアナログのバランスのよい有効活用</li> </ul>	<p><b>生活習慣・食育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の確立…十分な<b>睡眠時間</b>の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>早起き、早寝</b>（心身の健康）</li> </ul> </li> <li>○ 豊かなスポーツライフ…<b>多様な動き</b>の経験</li> <li>○ 「<b>グッドモーニング60分</b>」の定着</li> <li>○ 「命をいただいている」意識をもたせる</li> </ul>
<p><b>コミュニティ・スクールの強みを活かす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 郷土愛の醸成をねらった羽村学・人間学の充実</li> <li>○ 施設隣接型のメリットを活かした小中一貫教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 進学した子供が困らない共通指導</li> </ul> </li> <li>○ コミュニティ・スクールを活用した<b>社会とつながるプロジェクト</b>の推進</li> <li>○ 保護者、地域への<b>授業支援の働きかけ</b>の充実</li> </ul>	<p><b>安心感、自己有用感、安全教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供が<b>安心できる学級づくり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>まちがうから</b>学びが深まる</li> <li>• 「SOSカード」の活用</li> </ul> </li> <li>○ 「チャレンジする力」を工夫して育てる。</li> <li>○ 「失敗しない力」より「ピンチを切り抜ける力」</li> <li>○ 中休みは子供と過ごし、児童理解を深める</li> </ul>